



冬季間の感染予防について



冬はウイルスが好む低温・低湿の環境のため、様々な感染症が流行します。
本学でも感染性胃腸炎が流行しています。実習中でもあるため体調管理には気を付けましょう。

ノロウイルス



感染経路：経口感染・接触感染・飛沫感染・空気感染で
感染力が非常に強い

潜伏期間：1～2日

症状：繰り返す嘔吐、下痢

予防：手洗い、食品の十分な加熱、
調理器具の衛生管理の徹底、汚物の処理

インフルエンザ



ワクチンを接種した方も油断は禁物！

感染経路：飛沫感染・接触感染

潜伏期間：1～3日

症状：急な発熱、頭痛、悪寒、関節痛

予防：手洗いの徹底、湿度の保持、十分な休息、
十分な栄養摂取、人込みを避ける

感染予防の基本 は手指衛生



対応については大学のホームページ
「感染対策マニュアル」を参照しましょう